



CIESF NEWS LETTER

2014 July 第22号

公益財団法人CIESF(シーセフ)は、非営利で国際的な民間の支援団体です。基礎教育の質の向上を主な目的とし、その上で高度人材育成も行い、カンボジアをはじめとした途上国の発展を支援します。

【教育に関する格言22】

あえて教える道を選んだ者は、学ぶことを止めてはならない。
——ジョン・コットン・ダナ

お世話になっております。CIESF(シーセフ)をご支援くださる皆さま、いつもありがとうございます。そしてこのニュースレターを手にしてくださった方々、出会いに感謝します。梅雨真ただちですが、気持ちちは晴れやかに参りましょう、7月!

CIESFはカンボジアだけではありません
2008年12月(任意団体としては7月)に設立された一般財団法人カンボジア国際教育支援基金は、2010年5月に公益認定を受けて、公益財団法人CIESFとなりました。その名の通り、まずはカンボジアの教育支援を目的としてスタートいたしました。

それから6期を迎え、CIESFの支援活動は、ミャンマーの起業家支援、ベトナムの産業人材育成支援と拡大してまいりました。もちろん、カンボジア国内においても、新たな支援も行ってきました。「CIESFといえば、カンボジア」とお思いになる方がほとんどですが、今後、ニーズがあれば、メコン流域の他の新興国の教育支援、人材育成支援も行うかもしれません。そこで、ロゴマークを一部修正いたしました。



「CIESF」の「C」はCambodia(カンボジア)のCですが、Cross-border(国境を越えた)の「C」でもあります。そこで、ロゴ横の英文字を削りました。とてもシンプルになったロゴマークです。ついでに説明させていただきまますと、輪が二つ重なったような形は、国と国の融合を表現しています。ウエブサイト等で旧ロゴのパナーを使用している法人サポーター様へは、順次新しいロゴの対応をお願いしてまいります。よろしくお願いたします。

ベトナム・バリアンタウ省の職業訓練校への支援

バリアンタウ省では、省をあげて日系企業向けの産業人材育成に力を入れています。CIESFは日本語教師3名と金型専門家3名を派遣し、学生に指導しています。日本語と金型技術以外に、短期間で5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)や日本のビジネススマナー等の研修も行っています。これは、日本の企業で働くにあたってとても大事なことであり、雇用側である企業からもご期待いただける現地スタッフはとても評価されているようです。

2014年5月5日から約2週間 Training Center (CCB

TCII CIESFがカンボジアで運営している日本語学校)の講師が、同校で80名以上の学生に、5Sやビジネススマナーの研修を行いました。



ビジネススマナーだけでなく、学生が実際に就職した際に日本人を含む他の社員とのコミュニケーションをうまくとれるようになることも、研修の目的のひとつです。これはこの国民にも言える生じてしまふ齟齬が違うがゆえに生じてしまふ齟齬がないよう、他国の文化を学ぶのは外資系企業で働く上で、大変重要なこととなります。この支援は、今後も継続してまいります。

さまざまなカタチでのご支援ありがとうございます

法人サポーターの皆様の自社のサービスや製品の販売と連動した、さまざまな支援企画からのご寄付を頂戴しております。株式会社キノカワ様(愛知県名古屋)は、運営している回転すしの店舗「おしり寿司」に寄付皿を設けて、CIESFの教育支援への寄付としてくださっています。



2013年7月からスタートした企画にて、多額のご寄付を頂戴いたしました。ありがとうございます。

スマイルキープ株式会社様(大阪府大阪市)は、運営しているつけ麺店の券売機にて、寄付チケットを設けて、毎月CIESFの教育支援への寄付としてくださっています。



一般社団法人IDTAセラピスト協会様(宮城県宮城郡)は、「フットリラクゼーションセラピスト1000人育成プロジェクト」として、日本の学び1時間に付き1000円を、カンボジアの学びのために、寄付としてくださっています。そのほかにも、多くの企業様に支

えられて、CIESFは支援活動を行うことができている。ありがとうございます。

「国境なき教師団」応援団募集中

CIESFでは、カンボジアの現場で活動する「国境なき教師団」のサポートメンバーである応援団を結成し、日本からの後方支援をしています。現地の教育アドバイザーの活動だけでなく、教材づくりのコツや伝え方など、多くの方のアイデアを結集して、カンボジアの教師の質の向上・教育の質の向上に寄与して行きたいと思っております。

5月に、第1回意見交換会を東京で開催し、今後の活動について検討いたしました。遠方の方からも、メールや書面でのご意見や、現地にいる教育アドバイザーへの情報提供などを頂戴しております。場所は愛知県の予定です。詳細が決まりましたら応援団の皆さまにお知らせいたします。

- 応募方法
①ホームページから「あなたができる支援」→「国境なき教師団」応援団
②お電話から
03-6418-2480(事務局)

「かざして募金」ははじめました
ソフトバンクモバイルのスマートフォンで手軽に募金ができる「かざして募金」をはじめました。まずは「かざして募金」アプリをダウンロードします。あとは、CIESFのポスター・リーフレット・活動報告書・募金箱シールいざれからの画像にかざすだけで、100円からは毎月使用料から、その他の方はクレジットカード決済となります。よろしくお願いたします!



Facebook
ウェブサイト上のニュースや、CIESFからのお知らせ、裏話などをお届けしています。もっと皆さんと交流したいと思っています。投稿やコメントなど残していただけましたら嬉しいです。いただいたコメントに対するお返事100%を目指しています。
<http://www.facebook.com/ciesf>

CIESFのニュースレターは、隔月(奇数月)に発行しております。次号は、2014年9月にお届けいたします。ニュースレターは、CIESFのウェブサイト・Facebookページ上にも掲載しておりますが、ご希望の方にはお送りいたしますので事務局までご連絡ください。

発行:公益財団法人CIESF 日本事務局
〒150-0002
東京都渋谷区渋谷2-7-5 URD渋谷第2ビル4F
Tel:03-6418-2480 Mail:info@ciesf.org

編集後記 梅雨真ただちの7月初旬です。6月の雨はゲリラ豪雨が突然やってきたり、地面が真っ白になるほどの電が降ったりと、不思議な空模様でした、ニッポン列島。7月はやっと梅雨らしい雨が降ると気象予報士のお姉さんがおっしゃっていました。傘がさせる程度の雨なら歓迎です。雨というものは不思議なもので、いくらザーザー降っていても、空気は「静か」な感じがします(雷が鳴っている場合は別ですけど)。雨粒ひとつひとつ音が飲み込んでしまうのでしょうか。武者小路実篤の「雨が降った それもいいだろう 本が読める」という言葉がしみる時節、本を読みたいですがパソコン仕事です。(YM)